

(2) せせらぎスクール指導者養成講座初級編2コース 会津会場

ア 日 時：平成30年7月1日（日）8時50分～16時10分

イ 場 所：会津若松市文化センター（実習：湯川）

ウ 講 師：福島大学共生システム理工学類 ^{つづみ}塘 ^{ただあき}忠顕 教授

福島大学共生システム理工学類 ^{おおひら}大平 ^{はじめ}創 特任助教

エ 参加者数：23名（17名[対象者：水生生物に興味のある方、新たに指導者を目指す方]、6名[講師・事務局]）

オ その他：講座の内容は以下のとおり。

(ア) 講義（水生生物調査の方法、指標生物の説明）



講義「水生生物調査の方法」(塘教授)



講義「指標生物の説明」(大平特任助教)

《講義後：受講生から講師への質問》

Q. 指標生物は何を基準に決められているのか？

A. 全国に生息している生物に限る。また、4つの水質階級それぞれに限定的に生息しているもの、大きくてわかりやすいものを指標生物にしている。

(4) 野外実習



水生生物採集の様子



採集した水生生物



水生生物同定の様子

(ウ) 顕微鏡による水生生物の観察と同定実習及び解説

受講生が採集した水生生物を顕微鏡で観察した。塘教授及び大平特任助教が各班を回りながら、水生生物の特徴について詳しく解説した。



採集した水生生物



水生生物の観察の様子

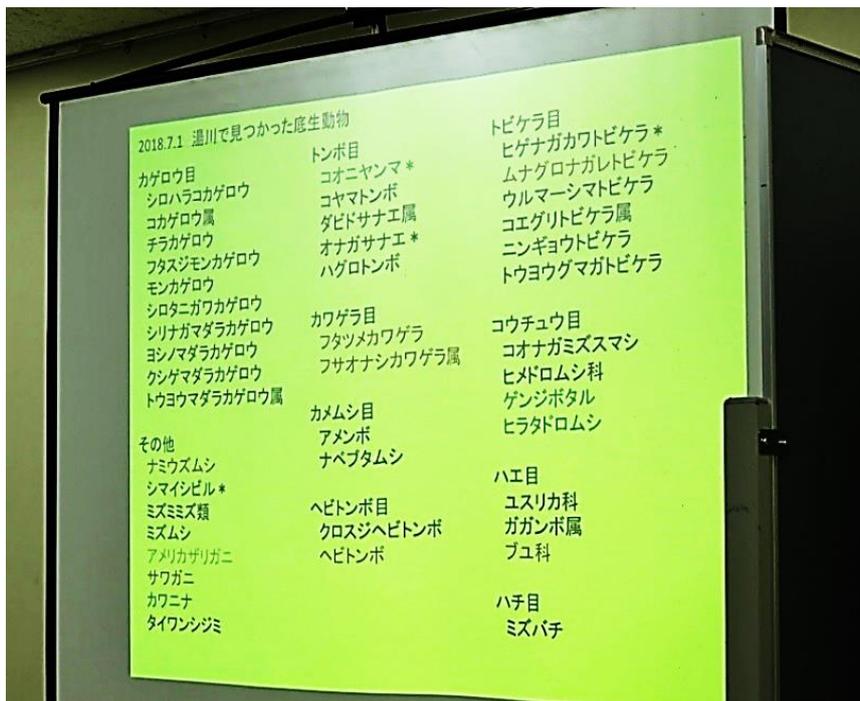


顕微鏡から見た水生生物

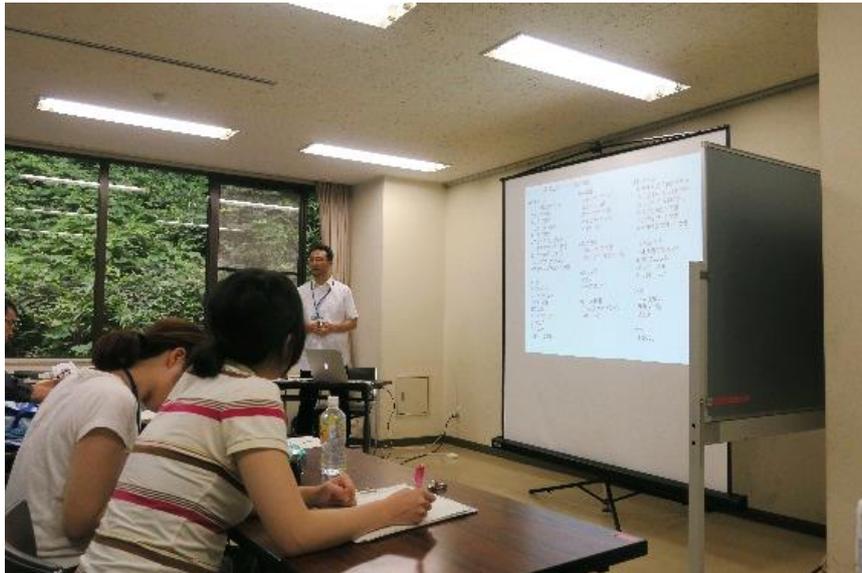
(エ) 水質評価の方法及び水生生物調査のまとめ

受講者が採集した水生生物を塘教授及び大平特任助教が集計し、採集した水生生物と水質階級について説明していただいた。

最後に塘教授より水生生物調査のまとめの講義があった。



湯川で採集した水生生物



まとめの講義の様子

(オ) 参加者の感想

《アンケートの質問》

講座を受講して、内容は期待どおりでしたか。また、学校や地域に持ち帰って活用できそうなものだったか。

《受講生の感想》

- | |
|--|
| ◎指標生物とそれ以外の生物との区別を詳しく教えて頂き大変よく分かった。指標生物に選択される生物の条件も納得した。ありがとうございました。 |
| ◎内容は思っていた以上に濃厚でしたので、業務に活かしていきたいと考えます。 |
| ◎活用できそうだった。思っていた以上に色々な種類の生きものが取れて良かった。 |
| ◎水生生物に関する講座を始めて受講したので大変有意義でした。 |
| ◎期待どおり。自分で体験することで調査の大変さと楽しさを知ることができました。質問にもよく対応していただき有難うございました。 |
| ◎座学から実際に外に出て調査を行うことで、理解を深めることができた。 |
| ◎指標生物以外の水生生物についても詳しく知ることができ、非常に有意義でした。 |
| ◎充実した内容で、今後の活動時に活かしていきたいと思います。 |
| ◎期待以上であった。人数も丁度良く先生方に教えて頂きながらよく学べて楽しめた。 |

(3) せせらぎスクール指導者養成講座初級編 まとめの講義概要

- ア 実習で多くの種類の水生生物を採集することができたが、採集した生物が必ずしも指標生物であるとは限らない（そこが残念な所）。
- イ 水生生物は、水中で生育した後地上で活動する。河川だけでなくその周辺の環境にも目を向けてほしい。
- ウ その河川が元々どのような状況（汚染状況）で、それを改善する必要があるのかどうか。改善が必要な場合、自分達は何に気を付けて生活すべきなのか、どうすれば本当に改善できるのかを考えることが大事である。
- エ 環境を保全していくためには環境教育が大切。まずは、指導する側の人間が実際に河川で調査する経験をもつこと。指導者の実体験を持った言葉には重みがある。今回の養成講座等で体験し感じたことを、今後指導者として子供たちや水生生物調査に参加する方々に伝えて欲しい。